

子どもの意思決定支援や看護師の倫理的苦悩に関する研究



看護学科（小児看護学）

丸山 始美

●連絡先 TEL：054-202-2915
E-Mail：maruyama@u-shizuoka-ken.ac.jp

キーワード

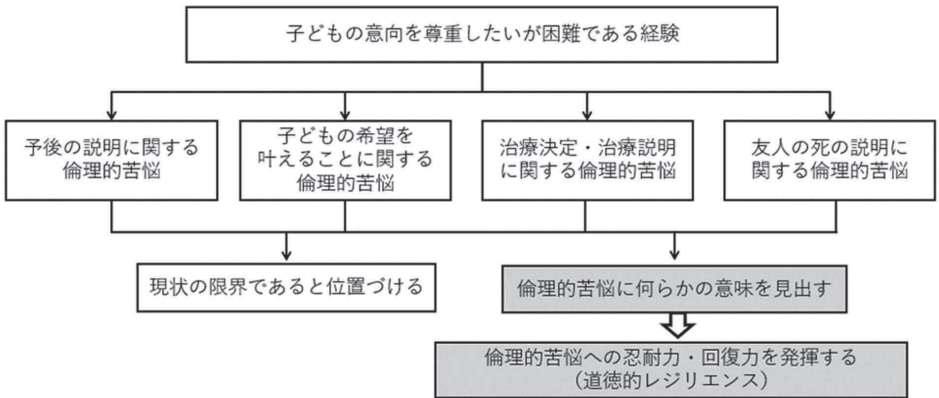
小児がん、看護師、ターミナル期、レジリエンス、倫理的苦悩、看護倫理、意思決定、ナラティブ



小児看護の医療現場で、子どもの意思決定支援の現状に苦悩を感じていました。そこで、看護師の意思決定支援や倫理的苦悩、看護師のレジリエンスの研究活動を行っています。

小児医療現場では、治療決定権は親権者である家族に委ねられることが多く、成長発達過程にあるため、子どもとともに意思決定することが難しい場合があります。人口動態統計上、小児がんは子どもの死因の上位であり、小児がんの子どもを対象とする看護師は、子ども参加型の意思決定支援をすることが難しく、倫理的苦悩を抱きやすいと考えます。看護師が倫理的苦悩を抱きつつ、看護実践をするには辛く苦しい状況から回復する力（道徳的レジリエンス）を持つ必要があると考えています。

現在は、倫理的苦悩に直面する看護師が、辛く苦しい気持ちへの忍耐力・回復力である道徳的レジリエンスを発揮するための要因に関する検討をしています。



倫理的苦悩を抱く看護師のストーリーライン

アピールポイント

小児医療現場の看護師経験を経て、臨床で感じた倫理的な疑問や課題に関する研究に取り組んでいます。